

「町民の信頼と町の信頼」を大切に

5期目松井町政スタート!

国難続く時代の自治体運営に努力



平成12年から24年ぶり、2人の立候補者による積丹町長選挙は、5月28日告示、6月2日投票の結果、現職の松井秀紀氏が5度目の当選を果たし、翌3日10時、吉田選管委員長から当選証書が付与されました。

5日からは、国の来年度予算に向けた後志総合開発期成会（1市19町村長・議長）及び北海道町村会（144町村）役員による中央要請活動に上京。就任日の翌17日（月）には、町職員の出迎えを受けて初登庁。全職員への就任の挨拶では、「5つの目標へのスピード感ある対応」、「行政の見える化への取り組み」、「町民の期待と信頼に応える努力」などへの協力を求めました。また、引き続き開かれた管理職会議では、当面急がれる事務事業の執行と懸案課題の取り組みへの加速を指示しました。翌日からは、6月27日招集の第2回定例町議会の準備や、19日からは全国国土調査協会理事会出席のために上京し、5期目の多忙な松井町政がスタートしました。

就任ごあいさつ

6月2日執行の積丹町長選挙において、町民の皆さんの温かいご支持をいただき、5期目の町政の重責を担うことになり、6月16日就任しました。

今、我が国が急速な人口減少社会の到来や気候変動、行政縮小など国難が続く地方自治体環境にあつて、「健全な財政の維持」、「行政サービス

【プロフィール】 松井 秀紀

町立余別小学校卒。釧路市立鳥取中学校卒。道立釧路商業高校卒。道立水産業協同組合講習所修了。昭和42年積丹町役場入庁。企画振興室長、議事事務局長、歳入課長、教育委員会教育次長を経て平成16年助役（副町長）就任。平成20年第8代積丹町長就任5期目。積丹町（旧余別村）出身。76歳。

松井町政「5つの目標」

- ① みんなで創る『産業・経済おこし』
- ② みんなで支え合う『福祉』
- ③ みんなで守る『快適な生活』
- ④ みんなで育む『教育と文化』
- ⑤ みんなで考える『開かれた行・財政』

ス・公共サービスの水準維持向上」、「地域の活性化」という普遍的な3つの課題の均衡ある克服と、「町の内外との信頼関係の大切さ」を引き続き町政の基本としていかなければなりません。

立候補にあたり、私は「5つの目標」を掲げました。この目標には、「第5次町総合計画（まちづくり14年計画）」に沿った、町民生活にとって解決が急がれる施策や今日の社会課題として充実が待たれる施策、新たな官民連携力の発揮が期待される施策などの多くが含まれており、その具現化が急がれています。

私たちには、この町を支えてきた漁業・農業・商工観光業の歴史があり、半島先端の

地の価値が見直され、評価されつつある多様な資源や財産があります。

そして、かけがえない農山漁村の価値の新たな発見や資源化をこの町の活性化につなげようと懸命に努力している若い力が芽生えてきています。

私は、国難が続く時代の今だからこそ、自己決定・自己責任という地方分権時代の普遍の理念の大切さを、町民と議会と行政がいつも共有し、国・道や道内外の積丹応援団の皆さんとの信頼関係の一層の強化に努め、全道179市町村の一員としての使命と信頼を担い、「自治力」、「行政力」、「財政力」の向上を目指す自治体行政運営に渾身の努力を傾けてまいります。

積丹町が歩んできたこの16年間、時のさまざまな困難な課題の克服にいつの日も深いご理解とご協力をいただいた町民の皆さんへの感謝と謙虚さと初心を忘れることなく、郷土を愛し、その秘めたる可能性を郷土の発展にと願う町民の皆さんの信頼と期待に応えるべく全力を尽くしていく決意です。

町民の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

【令和6年6月2日執行 積丹町長選挙結果】

◆◆◆候補者別得票数（得票順）◆◆◆

当落	氏名	得票数
当選	松井 秀紀	952票
落選	八田 盛茂	183票

▲総投票数 1,156 票
▲得票総数 1,135 票
▲無効投票 21 票

当日の有権者数（人）		
男：705	女：848	合計：1,553
投票者数（人）		
男：514	女：642	合計：1,156
投票率（%）		
男：72.91	女：75.71	合計：74.44(24年前：87.97)



北と南の絆、さらに固く！ 合同チームが匠巻の演舞を披露

6月8日・9日の2日間、256チームが参加し、大盛況となった「第33回YOSAKOIソーラン祭り」に今年も姉妹都市の高知県香美市との合同チーム「ヤーレンソーラン積丹町&香美市」を結成し、参加しました。積丹町の踊り子28名と香美市から13名の計41名が、ソーラン節と鳴子の乾いた音を響かせ、両市町の交流の健在をアピールしました。

依光晃一郎香美市長を団長に訪問団11名、踊り子13名が7日に来町。同日、町総合文化センター交流大ホールで行った合同練習には、多くの積丹町民が見学に駆けつけ、両市町の友情と親睦を深めました。

また、今年はソーラン節のふるさと・積丹町と、よさこい鳴子踊りの本場・高知県香美市が出会い、合同チームとして平成7年（第4回）から踊りつないできた出場回数がついに30回を数え、同実行委員会から感謝状が紫苑流・加藤二佐世先生へ贈られました。同市との姉妹都市交流が今後もより一層発展するよう、両市町民の交流の輪をさらに広めていきましょう。

“北と南” 踊りつないだ 30年の^{ぎずな}絆

